

取扱説明書

用途

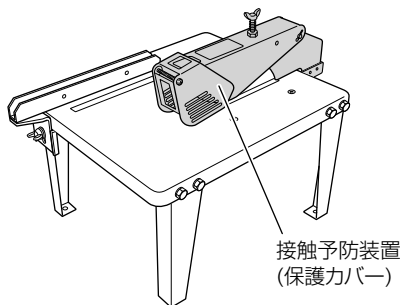
●各種木材の切断

丸のこベンチスタンド

接触予防装置（保護カバー）（労働省検定合格番号 第 D 002 号）付

PS7-BS3（弊社丸のこ用別売品）

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



丸のこベンチスタンドの安全上のご注意 …	1
各部の名称 …	3
仕様 …	4
組立て方 …	5
作業方法 …	10
保守・点検 …	13
ご修理のときは …	裏表紙

はじめに

使い方

その他

使用できるブレーキ付き丸のこ

現行機種	C 6MBYA2	C 6MVYA2	C 6MEY	C 6UB4	C 6UBY	C 6UEY
	C 6UVY	C 6MB4	C 6SS	C 7MB4	C 7SS	C 7UB4
	FC 6BB3	FC 6MA3	FC 7BB3	FC 7MA3		
旧形機種	C 5MBYA*	C 5MVYA*	C 6B2	C 6BE2	C 6BA2	C 6BA3
	C 6BB2	C 6BB3	C 6BH	C 6BJ	C 6MA	C 6MB
	C 6MB2	C 6MB3	C 6MBY	C 6MBYA	C 6MH	C 6MV
	C 6MV2	C 6MV3	C 6MVH	C 6MVY	C 6MVYA	C 6UA
	C 6UB	C 6UB2	C 6UB3	C 6UH	C 6UV	C 6UV2
	C 6UV3	C 6UVH	FC 6BB2	FC 6MA2		
	C 7B2	C 7BE2	C 7BA2	C 7BA3	C 7BB2	C 7BB3
	C 7BH	C 7BJ	C 7MA	C 7MB	C 7MB2	C 7MB3
	C 7MH	C 7MV	C 7MV2	C 7MV3	C 7MVH	C 7UA
	C 7UB	C 7UB2	C 7UB3	C 7UH	C 7UV	C 7UV2
	C 7UV3	C 7UVH	FC 7BB2	FC 7MA2		

※ C 5MBYA・C 5MVYA は、のこ刃外径 155 mm 以上をご使用ください。

△警告、**△注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「△ 警告」、「△ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

△警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

丸のこベンチスタンドの安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△警告

- ① 組立は取扱説明書にしたがって確実に行ってください。
- ② 接触予防装置（保護カバー）は、必ず取付けて使用してください。また、円滑に動くことを確認してください。
接触予防装置（保護カバー）は、身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。はずして使用したり、円滑に動かなかったりすると、けがの原因になります。
- ③ ベンチスタンドは、しっかり固定してください。また、平坦な安定した場所で使用してください。
ベンチスタンドがぐらつくなど、けがの原因になります。
- ④ 切断時、材料に無理な力を加えたり、材料を急激に送り、本体に衝撃を加えないでください。
強い反発力が発生したり、ベンチスタンドや丸のこ本体が破損し、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、のこ刃が止まったり、異常音、異常振動を発したときなどには直ちにスイッチを切って、使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体や工具類などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 警告

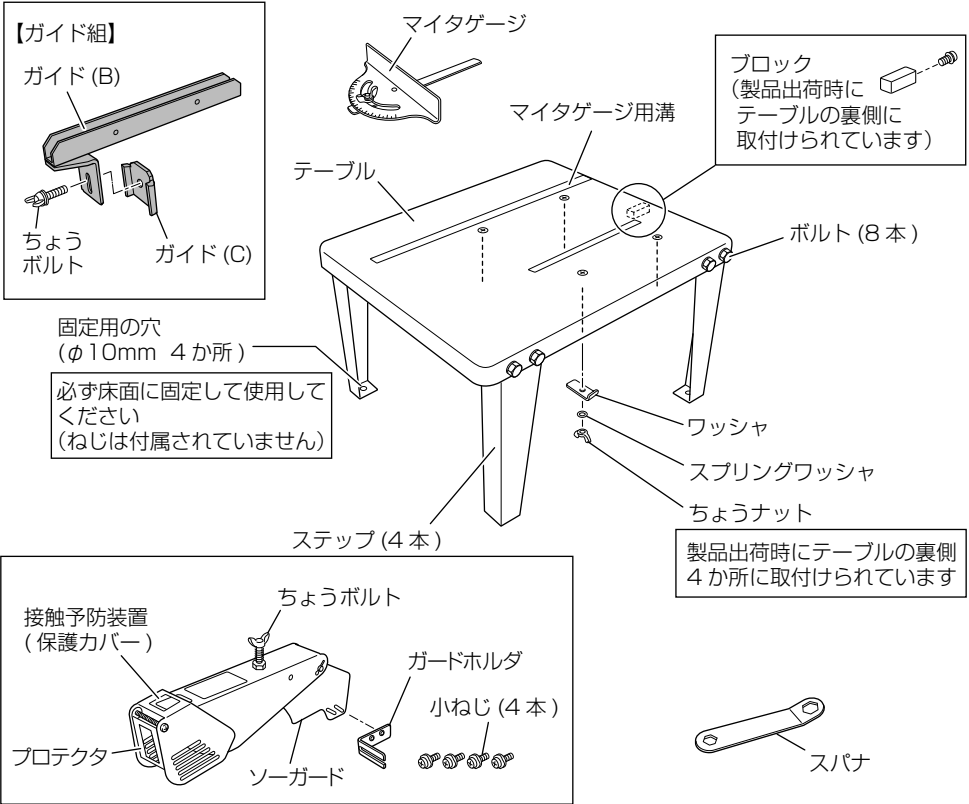
- ⑦ ご使用前に、丸のこ本体の取扱説明書を必ず良くお読みください。
- ⑧ 切れ味の悪くなったのこ刃は、そのまま使用しないでください。
無理して使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ① ブレーキ付丸のこ以外には、使用しないでください。
けがの原因になります。
- ② 材料の切断部に釘などの異物がないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ③ 踏み台として、ベンチスタンドの上に乗らないでください。
転倒やベンチスタンドの変形により、けがの原因になります。

注 切断作業は、スイッチを入れた後、のこ刃が全速回転になってから行ってください。

各部の名称



仕 様

テーブル作業面 340 mm × 400 mm

高 さ 240 mm

使用できるブレーキ付丸のこ、のこ刃外径、最大切込み

ブレーキ付丸のこ	標準付属ののこ刃		ブロック 取付け時の 向き
	のこ刃外径	最大切込み	
C 5MBYA* C 5MVYA* (※ のこ刃外径 155 mm 以上をご使用ください。)	157 mm	59 mm	横
C 6MBY C 6MBYA C 6MBYA2 C 6MVY C 6MVYA C 6MVYA2	165 mm	62 mm	
C 6UBY C 6UEY C 6UVY		61 mm	
C 6MEY		62 mm	
C 6BA2 C 6BA3 C 6BB2 C 6BB3 C 6BH C 6BJ C 6MA C 6MB C 6MH C 6MV C 6MVH C 6SS FC 6BB2 FC 6MA2 FC 6BB3 FC 6MA3	165 mm	53 mm	縦
C 6MB2 C 6MB3 C 6MB4 C 6MV2 C 6MV3			52 mm
C 6B2 C 6BE2 C 6UA C 6UB C 6UB2 C 6UB3 C 6UB4 C 6UV2 C 6UH C 6UV C 6UV3 C 6UVH			
C 7BA2 C 7BA3 C 7BB2 C 7BB3 C 7BH C 7BJ C 7MA C 7MB C 7MH C 7MV C 7MVH C 7SS FC 7BB2 FC 7MA2 FC 7BB3 FC 7MA3	190 mm	64 mm	
C 7MB2 C 7MB3 C 7MB4 C 7MV2 C 7MV3			190 mm
C 7B2 C 7BE2 C 7UA C 7UB C 7UB2 C 7UB3 C 7UB4 C 7UV2 C 7UH C 7UV C 7UV3 C 7UVH			

注 のこ刃を傾斜させての使用はできません。

組立て方

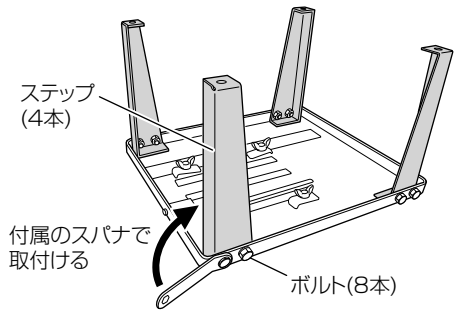
警告

- 万一の事故を防止するため、必ず丸のこ本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ボルト、ねじ、ちょうナットなどを確実に締付けてください。ゆるんでいると、けがの原因になります。

- 注**
- 組立て時には、手を汚れや傷から守るために手袋を装着してください。
 - 組立てにはプラスドライバーが必要になります。

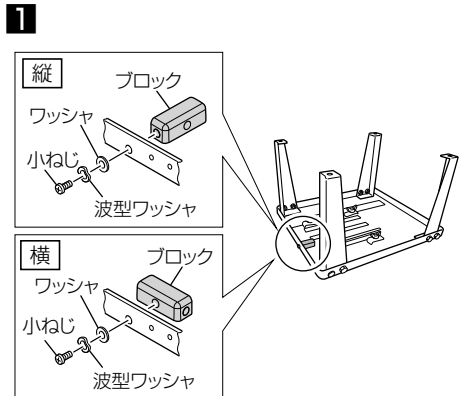
1. ベンチスタンドの組立て

ステップ(4本)をボルト(8本)でテーブルに取付けます。



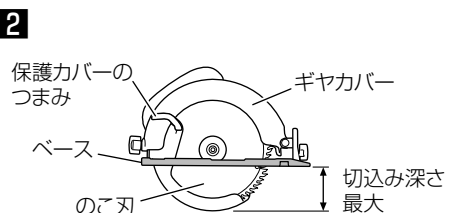
2. 丸のこ本体を取付ける

- 1** 丸のこの機種により、P.4の表に示されたブロック取付け時の向き(縦・横)に従ってブロックの取付けを変えます。製品出荷時は、縦の状態に取付けられています。

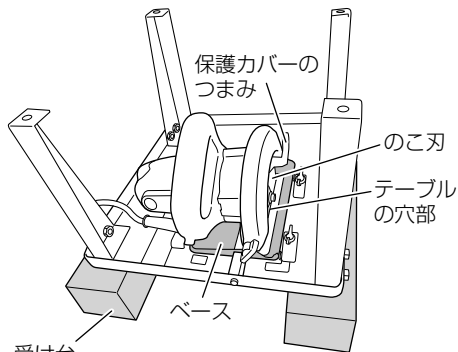


- 2** 丸のこの切込み深さを最大にします。

- 注** 傾斜切断はできませんので、ベースは直角切断に必ず戻してください。

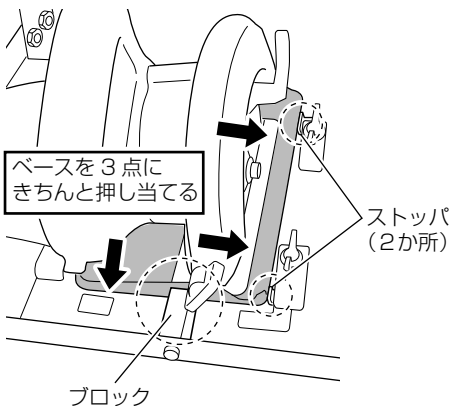


3 4

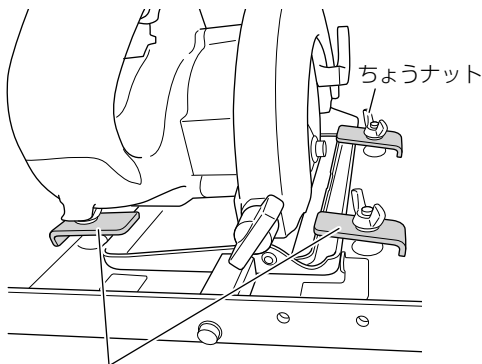


受け台
(のこ刃の出しろ以上の高さ)

5



ブロック



ワッシャ (L字金具)
(4か所)

必ずL字金具の曲がった方を外側に

3 のこ刃が床面に接触しない、十分な高さの受け台を用意します。のこ刃で床を傷つけたり、刃先を傷めるのを防ぎます。

4 保護カバーのつまみを持ち、保護カバーをギヤカバーの中に引き込みながら、のこ刃をテーブルの穴部に入れて丸のこのベースを設置します。

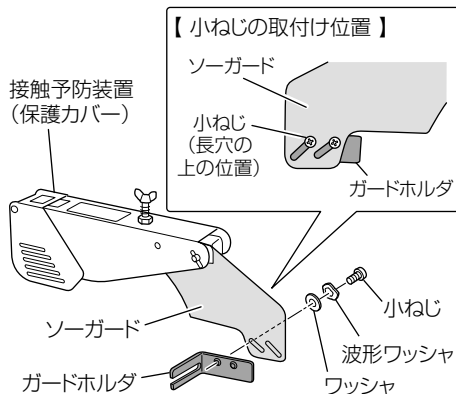
5 ブロックと2か所のストップが丸のこのベースをきちんと押し当てた状態で、ワッシャ(L字金具)を右図下の向きに取付けます。

- 注
- のこ刃がベースに対して直角であることを確かめてから取付けてください。
 - ちょうナットを締めるときは、のこ刃がテーブルの溝と平行になるように注意してください。

3. 接触予防装置（保護カバー）を取付ける

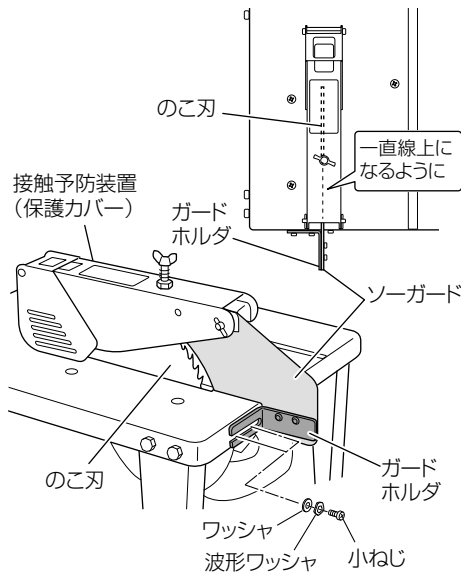
- 1** ソーガードにガードホルダを取付けます。
この際、小ねじの取付け位置に注意してください。

1



- 2** ソーガードがのこ刃と一直線上になるように、ガードホルダをテーブル後端に取付けます。

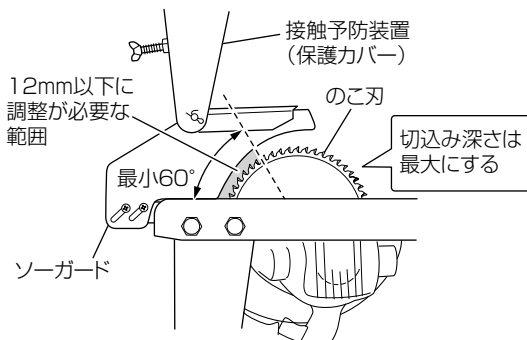
2



4. ソーガードの調整

警告

ソーガードを調整しても、のこ刃との間隔が 12 mm 以下に調整できないのこ刃を使用したり、丸のこ本体の切込みを浅くして使用したりしないでください。けがの原因になります。

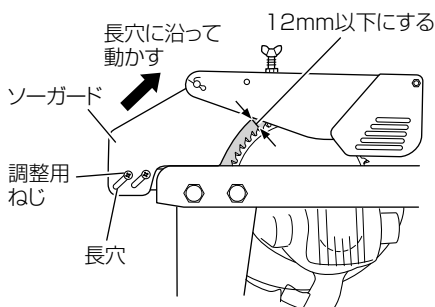


外径が小さいのこ刃を使う場合、のこ刃とソーガードとの間隔が大きくなり、ソーガードとしての働きがなくなりますから、間隔を調整してください。

1 調整用ねじをゆるめ、ソーガードを長穴に沿って動し、間隔を 12 mm 以下に調整します。

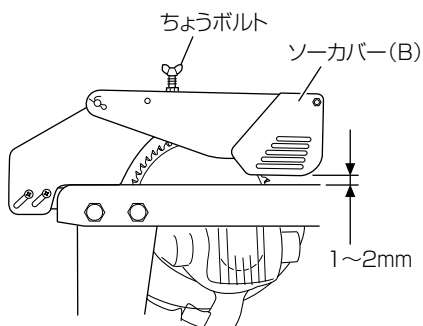
2 調整後はねじをしっかりと締めてください。

3 ソーカバーを上げて、のこ刃がソーガードに接触していないことを確認してください。



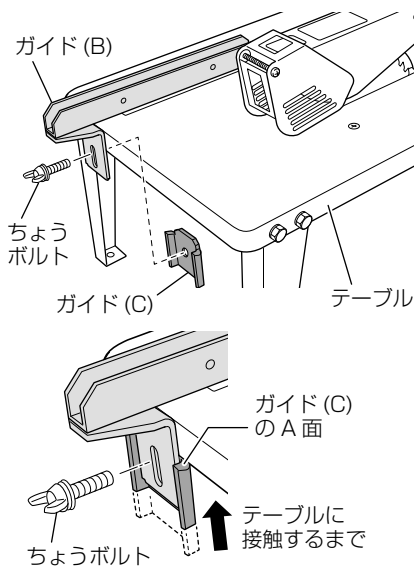
5. ソーカバーの調整

ちょうボルトの締め方によりソーカバー (B) の高さが変わります。テーブルとの間隔が 1 ~ 2 mm あくように調整してください。



6. ガイドを取付ける

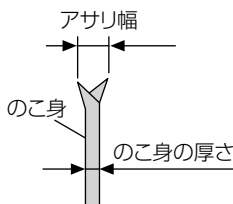
ガイド (B) をテーブルの上に置き、ガイド (C) をガイド (B) に沿わせながら上に移動させます。ガイド (C) の A 面がテーブルに接触したところで、ちょうボルトをテーブルの前面に取付けます。



作業方法

⚠ 警告

- 本機のソーガードの厚さは 1.6 mm です。アサリ幅が 1.6 mm より小さいのこ刃、また、のこ身の厚さが 1.45 mm を超えるのこ刃は使用しないでください。



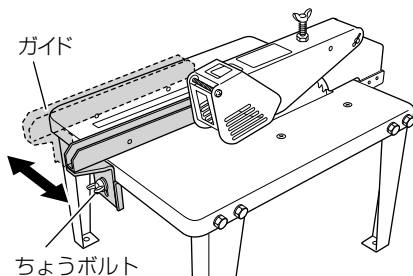
- 接触予防装置（保護カバー）の前にプロテクタ（P.3「各部の名称」参照）があります。のこ刃が回転しているときは、絶対に手などをプロテクタの中に入れてください。けがの原因になります。
- ステップ下部には固定用の穴が設けてあります。床面に固定してください。固定しないで使用すると、けがの原因になります。
- レーザーマーカ付の C 6MH/C 6MVH/C 6UH/C 6UVH/C 7MH/C 7MVH/C 7UH/C 7UVH は必ずレーザースイッチを切ってください。

⚠ 注意

- のこ刃の回転中は、切断片を取除かないでください。のこ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 材料を押す手を、のこ刃の延長線上に置かないでください。手がのこ刃に接近する場合は、押し棒などを使用してください。
- ガイドは確実に固定してください。材料がこじれて、けがの原因になります。

1. 切断位置の調整

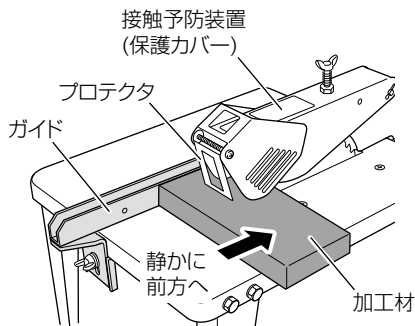
- 1 ちょうボルトをゆるめ、ガイドを左右に移動して切断寸法の調整をします。
- 2 ガイドは両面を使用できます。



2. 切断の仕方

加工材をガイドに軽く当てながら静かに前方へ押し進めます。

- 注** 丸のこの切込み深さは、最大にしてください。
すじ入れなどの作業はできません。



3. マイタゲージの使い方

角度をつけて切る場合は、マイタゲージをご使用ください。

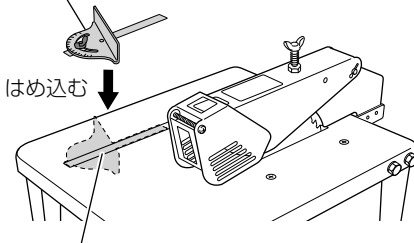
1 マイタゲージをマイタゲージ用溝にはめ込みます。

1

マイタゲージ

はめ込む

マイタゲージ用溝



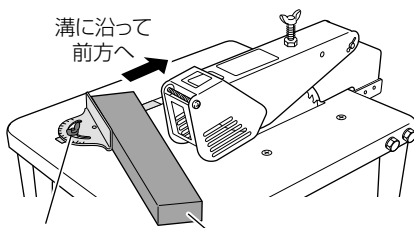
2 マイタゲージのちょうボルトをゆるめ、角度を調整します。加工材をマイタゲージにぴったりと付け、テーブルの溝に沿って前方へ押し進めます。

2

溝に沿って
前方へ

マイタゲージの
ちょうボルト

加工材



使い方

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● のこ刃の点検

⚠ 警告

切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

切れ味が悪くなったままののこ刃を使用すると、モーターに無理をかけることとなります。また能率も落ちますから早目に新品と交換してください。

● 接触予防装置（保護カバー）の動作点検と保守

接触予防装置（保護カバー）はいつも円滑に動作するようにしておいてください。

注 保護カバーが円滑に動かない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

● 製品や付属品の保管

作業後は、必ず丸のこ本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

また、使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>

部品コード C99226502 810 N